

専門(記述式)試験問題

注 意 事 項

1. 解答時間は **1 時間**です。
2. 答案用紙の記入について
 - (ア) 答案は濃くはっきり書き、書き損じた場合は、解答の内容がはっきり分かるように訂正してください。
 - (イ) 表側の各欄にそれぞれ必要事項を記入してください。
 - (ウ) 書ききれない場合は、裏面を使用してください。
 - (エ) 試験の公正を害するおそれがありますので、答案用紙の切取線より下の部分に氏名その他解答と関係のない事項を記載しないでください。
3. この問題集は、本試験種目終了後に持ち帰りができます。
4. 本試験種目の途中で退室する場合は、退室時の問題集の持ち帰りはできませんが、希望する方には後ほど渡します。別途試験官の指示に従ってください。なお、試験時間中に、この問題集を切り取ったり、転記したりしないでください。
5. 下欄に受験番号等を記入してください。

第1次試験地	試験の区分 デジタル・電気・ 電子	受験番号	氏 名
--------	-------------------------	------	-----

指示があるまで中を開いてはいけません。

近年、東京圏への一極集中や地方の人口減少などにより、少子高齢化の問題は、地方においてより一層深刻な状況にあり、地方の生活環境の維持・改善や、地域経済の活性化等に向けた取組がますます重要となっている。

このような状況に対して、人口減少が進む中であっても、自立的、持続的に収益を上げられる経済や豊かな生活環境を地方に構築していく方法として、インフラ整備や AI・デジタルなどの新技術の活用が考えられている。例えば、半導体・蓄電池の分野における、GX・DX の進展を見据えた産業用地・インフラ確保の促進や、AI や IoT、自動運転、ドローン等の技術を活用した労働生産性の向上又は生活基盤の確保など、様々な取組が検討されている。

そこで、地方における、自立的、持続的に収益を上げられる経済や豊かな生活環境を実現するための取組について、①インフラ整備や新技術の活用の観点から、特に有効と考える取組を一つ提案し、その取組を有効と考える理由を述べよ。また、②その取組を実施するに当たっての課題、③課題に対する解決策を、デジタル・電気・電子分野の行政を担う技術者の立場から論ぜよ。

ただし、①で提案する取組としては、第二段落で示したものでもそれ以外でも構わない。